

多様性を普遍化するためのKーG6を通した 社会科カリキュラム

- +
 - - —カナダ・アルバータ州を手がかりに—

問題の所在

- ・ コロナ禍、他国の戦争、異常気象など様々な要因による経済的疲弊がより一層深刻化している今日。



- ・ 経済的な不振や停滞への不満の捌け口として、「我々」以外の「彼ら」を排除、非難、切り捨てるべきという思想が強まる。



- ・ 分断の深刻化と排他的、差別的な傾向の強まり。



- ・ 治安の悪化、国際協調、国際平和を阻害する要因ともなりうる。

「我々」意識の再構築を目指す社会科

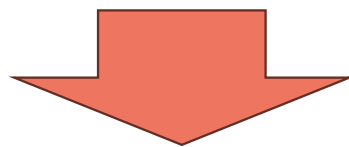
これまで各先進国は「国民形成」を主目的として学校教育を行ってきた。
その中核を担う教科が社会科を含む社会系科目。



これが分断と排他主義を生み出す一因となっている可能性



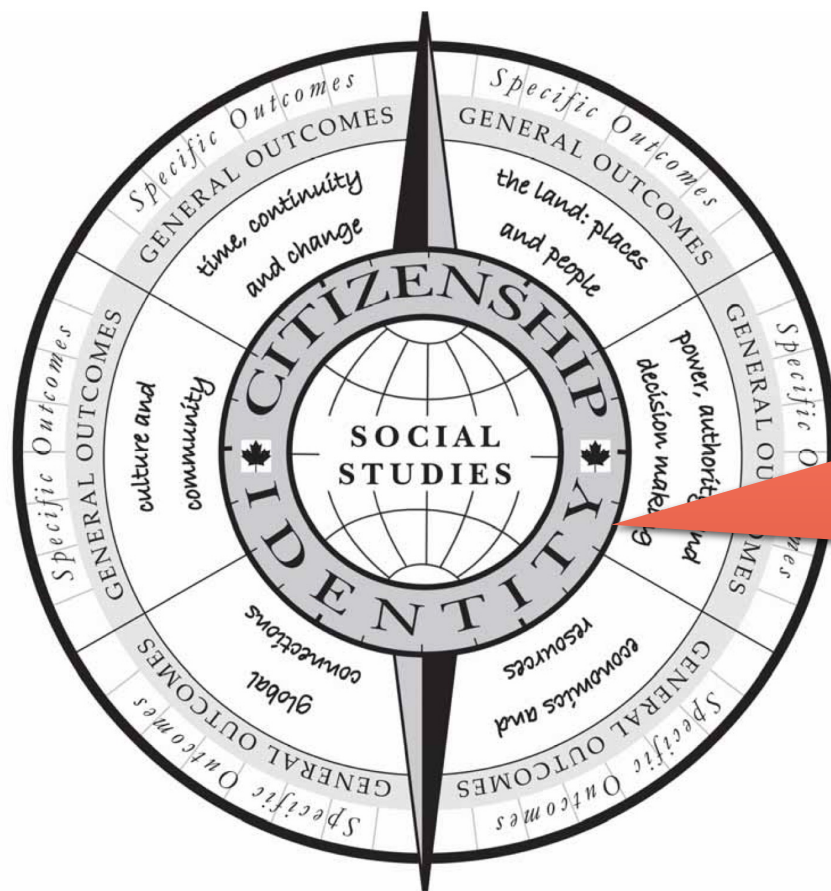
誰を「我々」と認識させるか、が極めて重要となる



共に社会を創る「パートナー」としての
「我々」意識を醸成する社会科が必要である。

アルバータ州の社会科(2005～現行)について

幼稚園(Kindergarten; K)～G12 総合社会科



シティズンシップを中核目標とする総合的な社会科であり、さまざまな諸社会科学の学問分野の上に描かれる学際的かつ探究的な構造

「アイデンティティ」と「シティズンシップ」が中核的コンセプト
社会科の最終的なねらいは子どもたちの「所属感や受容感を促進し、活動的及び責任あるシティズンシップに従事する意識を促進すること」

＝個々に異なるアイデンティティを重視し子どもたちに彼らの居場所感を与え、それらをまた助長することで子どもたちの社会への所属意識や受容感を持たせ、社会を担いその社会の統合を目指す意識や意思としてのシティズンシップを育成する

それら多様性の尊重と社会的結束に取り組む、多様性の力を活かし、差異をうまく調整する方途を生徒たちに提供することを社会科の目標としている。

表 1. 現行カリキュラムにおける各学年の学習テーマ

学年	段階	学習内容	
		大テーマ	小テーマ
K	幼	ともに生きる	1. 私は独特である 2. 私は所属している
1	小学校	シティズンシップ :所属とつながり	1. 私の世界:家庭, 学校, コミュニティ 2. 過去とともに前進する:私の家族・歴史・コミュニティ
2		カナダのコミュニティ	1. カナダのダイナミックなコミュニティ 2. 過去のコミュニティ
3		世界とのつながり	1. 世界のコミュニティ 2. 地球的シティズンシップ
4		アルバータ州 :土地, 歴史および物語	1. アルバータ州:土地の感覚 2. アルバータ州の物語, 歴史および人びと 3. アルバータ州:祝典および課題
5		カナダ :土地, 歴史および物語	1. カナダの自然地理 2. カナダにおける生き方の歴史および物語 3. カナダ:アイデンティティ形成
6		民主主義 :活動と参加	1. 意思決定における市民の参加 2. 民主主義の歴史的モデル:古代アテネおよびイロコイ連合
7	中学校	カナダ :起源, 歴史および人びとの移動	1. 連邦化へ向けて 2. 連邦化後:カナダディアンの拡張
8		歴史的世界観	1. 孤立から順応へ:日本 2. 西洋的世界観の起源:ルネサンス・ヨーロッパ 3. 紛争における世界観:スペインシュとアステカ族
9		カナダ :機会および課題	1. カナディアンの Issue:統治と権利 2. カナディアンの Issue:カナダとアメリカの経済システム
10	高校	10-1 グローバル化の展望(10-2 グローバル化する世界に生きる)	
11		11-1 ナショナリズムの展望(11-2 ナショナリズムの理解)	
12		12-1 イデオロギーの展望(12-2 イデオロギーの理解)	

本稿ではカナダ・アルバータ州の社会科カリキュラムを事例として、グローバル・アイデンティティの認識を形成する戦略について検討した。アイデンティティという、「自分とは何者か」という自己定義のような意味をイメージすることが多いかもしれないが、その定義は、ここではむしろ重要ではなく、その共同体の一員であるという意識という意味で捉えられていると言える。そして、その一員であることは、否応なしに現実であって、主体的に参加することなしには、一人一人の権利や生活が脅かされるリスクがあるのだという認識を、幼稚園の段階から繰り返し、過去・現在、カナダ・外国のさまざまな事例を用いて育んでいくカリキュラム構造によって、徐々にグローバルな規模の共同体の一員としての意識を育んでいく（中略）

「社会的結束」は、国家などの制度的枠組みや権力ではなく、また利害関係者間の利己的な契約関係でもなく、あるいは民族や文化の同質性に拠るものでもない、市民一人ひとりの社会の構成員としての責任や役割の自覚によって協働で運営される社会を構想したものである。グローバル化や資本主義の進展に伴い、国境を越えた人やモノの移動が激しさを増す今日、世界的な相互依存の強まりや差異との共生の必要性は、ますます顕在化している。シティズンシップ教育において「社会的結束」が求められるのは、そうした多様な人々が互いにとって生きやすい社会を主体となって創り出していくことが必要だからであり、そのためには、市民自身の意思と行動が必要とされたことによると筆者は考える。すなわち従来のように、権威や制度、利害の一致や民族的同質性など集団の質そのものに何らかの求心力を求めて市民を束ねるのではなく、多様な市民一人ひとりの共生へ向けた意思と協働によって、市民同士の間で社会が築かれていくことが必要だからである。

坪田(2024),p.80より

Alberta Education. (2005). *Social Studies Kindergarten to Grade 12 Program of Studies*. p.3より 発表者訳。

現職教員の声

The Alberta Teachers' Association(2016) “ The Future of Social Studies- The Voices of Alberta Teachers” , p.8.

<https://legacy.teachers.ab.ca/SiteCollectionDocuments/ATA/Publications/Research/COOR-101-11%20The%20Future%20of%20Social%20Studies.pdf> (2023/11/17最終閲覧)より

「スタンダード(Program of Study)改訂の必要あり！」

ただし、次のような社会科の基本要素（目指すべき方向性）については強い支持が示された。

- 地域、国、世界の状況における民主主義社会の活動的かつ積極的市民の育成に重点を置くという中心的焦点
- アボリジニの視点や経験に特に重点を置くなど、社会科のすべての要素において複数の視点を重視する点
- issue- centered および 探究基盤型アプローチ
- スキル、価値観、批判的思考の役割の重要性
- 歴史、地理、社会科学の幅広い分野の上に描かれる学際的なアプローチ
- 生徒たちが複雑さ、あいまいさ、不確実性をより熟達できるよう支援することに重点を置いている点。
- 時事問題や物議を醸す問題が果たす重要な役割

では、何を改訂すべきと考えられているのか？→上記の目指すべき方向性を実現するための改訂を求めた

- 「カバーすべき内容が多すぎ」、指定された知識項目が多すぎるため、教師がより広範で重要な目標に集中する能力が制限されてしまう。
- 一部の成果、特に初等レベルでは「発達上の適切性」に関連する懸念がある。
- 評価の方針や実践のさまざまな側面による悪影響に関連して、さまざまな懸念がある。
- 範囲と順序の問題に関して、かなりの数の懸念が提起された。たとえば、学年全体の繰り返し、学年レベルでの一部のコンテンツの適切性、学年間のトピックの配分方法のロジックなど。
- 多くの回答者が、教育と学習のためのリソースの適切性、十分性、適切性について懸念がある。
- 教育や学習におけるテクノロジーの使用は支持されているが、多くの回答者がテクノロジーへのアクセスと利用可能性に問題がある。

新しいカリキュラムについて

<https://curriculum.learnalberta.ca/curriculum/en/c/sssk?s=SSS> (2025/6/28最終閲覧) より。

K- G 3 までの学年は2024～2025年度に実施、G 4 ～G 6 は2025年度からオプションとして実施予定。

コンセプト

社会科は、歴史、地理、経済学、市民と市民権、政府と政治の研究である。生徒は重要な問いを探究し、問題に積極的に参加して、過去の教訓を理解し、コミュニティで活動的で十分な情報に基づいた市民になる。生徒は知識ベースのカリキュラムを使用し、研究、情報源の評価、証拠解釈などの社会科学の方法を組み合わせ、理解を深め、結論を導き出し、強力な批判的思考スキルを構築する。

主題

歴史：社会科は、生徒に地域、国、国際の歴史について強固な理解を与える。過去を理解することで、生徒は現在を解釈することができる。社会、文化、文明について学ぶことで、生徒は時事問題の起源と機関の役割を理解することができる。

批判的思考：社会科は、生徒に本質的な批判的思考スキルを身につけさせる。アルバータ州の社会科のカリキュラムは、生徒が仮定に疑問を持ち、問うことを奨励する。生徒はまた、研究方法の理解と、ソースの情報を客観的に分析する方法を知ることの重要性を理解する。

アクティブかつ責任ある市民を支援する：社会科は、批判的思考、問題解決、意思決定能力を身につけることで、生徒が積極的で責任ある市民になる力を与える。生徒は権利と責任の重要性について学び、市民がコミュニティに参加できるさまざまな方法と参加すべき方法を理解することができる。

私たちの世界の社会科：社会科は、主体的に関与し、批判的な思考を持った能動的な市民の育成を目指している。世界的には、シティズンシップは動的で、文脈的で、多次元的である。シティズンシップの定義とその主な特徴は、価値観の適用と解釈に基づいて、時間と場所によって変化する。積極的なシティズンシップとは、人々が自分たちの世界に積極的に関与する参加者となることを目指す、さまざまな実践が含まれる。

社会科は、生徒がそれぞれ自分自身の視点、文化、経験を、変化し続ける世界に持ち込むことを認識している。生徒は既存の知識と新たな文脈とを結びつけることで、周囲の世界についての理解を深めながら学びを構築していく。生徒は、多様な文化、歴史、貢献、視点が多元的な社会を支えていることを認識する。社会科は、歴史的・現代的・新たに生まれつつある諸課題を、多様な視点——ファースト・ネーション、メティ、イヌイットなどの観点も含む——から探究する機会を提供する。フランコフォン（フランス語圏）コミュニティを含む多様な共同体の独自の視点を理解することで、生徒は、個人や集団が世界をどのように捉え、行動するのかを形づくる思考の枠組みや世界観への理解を深めることができる。

- ・「生徒は、知識ベースのカリキュラムを使用し」？

- ・現行カリキュラムの中核コンセプトであった「アイデンティティ」、「社会的結束」が消えた！

表2 新カリキュラムの各学年(K-G9)の学習課題一覧

学年	時間と場所： 人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。	諸システム： 組織のプロセスと構造を評価することで、世界の意思決定の理解が構築される。	シティズンシップ： 地域、国、およびグローバルな問題を理解することは、包摂的な社会に向けて個人および集団の行動に力を与える。
K	・コミュニティ内の場所は何か？ ・文化や歴史を共有することで、どのように人々の間のつながりを築くことができるか？	・ニーズと欲求はどのように異なるか？ ・リーダーはコミュニティにとってどのような点で重要か？	・人々はどのようにグループで協力することができるか？
G1	・コミュニティ内の場所の重要性とは何か？ ・文化を共有することで、コミュニティ間のつながりを築くにはどうすればよいか？	・ニーズや欲求を満たすために、人々はどのように協力することができるか？ ・人々はどのような方法でコミュニティに貢献できるか？	・人々はどのようにして所属意識 (a sense of belonging) を育むことができるか？
G2	・カナダの土地は場所によってどのように異なるか？ ・遺産はどのようにして過去の基盤の上に構築されるか？	・コミュニティはどのようにニーズと欲求を満たしているか？ ・政府はどのようにコミュニティを支援することができるか？	・人々はどのようにして団結して決定を下すことができるか？
G3	・アルバータ州の土地の特徴は何か？ ・アルバータ州民とは誰か？	・アルバータ州では天然資源がどのように使用されているか？ ・アルバータ州はどのように統治されているか？	・アルバータ州民はどのようにして地域社会に影響を与えるか？
G4	・カナダはどのようにして国になったのか？ ・植民地はカナダの形成にどのような影響を与えたか？	・カナダ政府はどのように組織されているか？ ・経済的機会はカナダの建国にどのような影響を与えたか？	・責任あるシティズンシップとは何か？
G5	・古代世界は今日どのような点で関連性があるか？ ・地理は文明と帝国の発展にどのように貢献したか？	・経済的慣行は文明や帝国にどのように貢献したか？ ・歴史上、どのような方法で社会が組織されてきたか？	・市民はどのようにして活動的で情報に通じた市民となることができるか？
G6	・歴史はいかにして現代の民主主義についての理解を深める手がかりを与えるか？	・カナダの政府では民主主義の原則がどのように反映されているか？	・法律は民主主義社会でどのような方法で人々を守ることができるか？ ・市民参加はどのような方法で民主主義社会をサポートしているか？
G7	・連邦化後、カナダはどのように変化したか？ ・平和と安全のための防衛は、国家の発展にどのような役割を果たすことができるか？	・政府はどのようにして市民の経済的ニーズを満たすことができるか？ ・政府の構造は、変化する国家のニーズをどのような方法で反映できるか？	・権利の進化はカナダの人々にどのような影響を与えることができるか？
G8	・イデオロギーは時間の経過とともにどのように形成されてきたのか？	・どのような方法で経済を組織することができるか？ ・どのような方法で社会を組織することができるか？	・市民はどのような方法で問題や出来事に影響を与えることができるか？
G9	・都市化はどのように社会を変化させ、形作ることができるか？ ・出来事は世界における国家の役割をどのような方法で変えることができるか？ ・カナダはまとものある国家を築くことにどの程度成功しているか？	・議会の民主主義はどのように説明責任を果たしているか？ ・司法制度はどのような方法で市民に奉仕することができるか？ ・混合経済はどのように機能するか？	・市民の権利はどのような方法で進化するか？

特筆すべき改訂点

- ・学習領域が
8 → 3 へスリム化

時間と場所（地理・歴史）
諸システム（政府・経済・社会構造）
シティズンシップ（権利・責任・参加・多文化理解）

- ・学習成果のカテゴリが

価値態度
知識理解
スキルとプロセス



知識
理解
スキルとプロセス

現行カリキュラムから継続している特徴

・段階的なテーマの拡張と深化

「自分自身」と「身近な集団」から始まり、学年が上がるにつれ「州」、「カナダ」、「世界」へとスケールを広げる。

→ローカルな経験を足場にしつつ、より大きな集団、そしてグローバルな視点を持たせることを目指している。

・スパイラルカリキュラム的構造

どの学年でも「所属意識は育むもの」「協力・貢献・参加の必要性（→権利・正義は創造・進化するもの）」といった主旨の価値が共有されるような問いが繰り返される。

→単なる知識の獲得だけでなく、特定の価値を繰り返し「**考察**」させる設計。

参考資料:新K 社会科カリキュラムの学習成果一覧

Government of Alberta(2025) Alberta' curriculum/Social Studies K. In *Welcome to New learn Alberta*. より発表者作成・訳。

時間と場所	人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。
学習課題	コミュニティ内にはどのような場所がありますか？
学習成果	コミュニティの中の場所を調べる。

知識	理解	スキルとプロセス
さまざまな場所がコミュニティの一部になることがある。たとえば、 ・遊び場 ・自然地域 ・学校 ・消防署 ・警察署 ・町や市役所 コミュニティ内の場所は、固有の特徴とシンボルによって認識できる。	コミュニティ内の場所には固有のシンボルがある。	地域コミュニティ内の身近な場所について認識する。 個人にとって、家族にとって、集団にとって意味のある場所について共有する。

時間と場所	人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。
学習課題	文化や歴史を共有することで、どのように人々の間のつながりを構築することができますか？
学習成果	伝統、文化、歴史の表現を探究する。

知識	理解	スキルとプロセス
「伝統」とは、世代を超えて受け継がれてきた信念や行動のことである。たとえば、 ・お祝い ・儀式 ・休日 ・食べ物 ・音楽 ・活動 ・物語 「文化」は、伝統や言語を通して表現することができる。 「歴史」とは、過去に起こった出来事の記録のことである（家族の歴史、個人の歴史など）。 出来事は時間の順序に従って表すことができる。たとえば、 ・最近 ・昔 ・毎日 ・毎年	伝統・文化・歴史は、自分自身や他者の理解を築くことにつながる。	地域社会の多様な集団の伝統・文化・言語・歴史について説明する。 自分自身または家族にとって大切な伝統・文化・言語・歴史を共有する。 時間に関連づけて経験を共有する。

諸システム	組織のプロセスと構造を評価することで、世界の意思決定の理解が構築される。
学習課題	ニーズと欲求はどう違うのでしょうか？
学習成果	ニーズと欲求について探究する。

知識	理解	スキルとプロセス
人々は基本的な身体的および社会的ニーズを持っている。 食料、水、避難所などの身体的ニーズは生存に必要である。 安全や所属意識を含む社会的ニーズは、快適さと幸福に関連している。 個人差により、メガネ、薬、介助動物など、固有のニーズを持つことがある。 欲求は生存のために不要である。 人々は、個人的な興味、好み、経験に基づいて欲求を持つことがある。 人々は、ニーズや欲求を満たす方法について決定を下す。	人々はニーズと欲求を持つ。	ニーズと欲求を区別する。 個人のニーズや希望を満たす方法を説明する。 個人的な欲求の理由を提示する。

諸システム	組織のプロセスと構造を評価することで、世界の意思決定の理解が構築される。
学習課題	リーダーはコミュニティにとってどのような点で重要でしょうか？
学習成果	コミュニティにおけるリーダーの役割を調査する。

知識	理解	スキルとプロセス
リーダーはグループメンバーを指導し、コミュニティが目標を達成できるようサポートする。 リーダーは、スキル、知識、経験をコミュニティに提供する。 例えば、学校や家庭などのコミュニティには、多くのリーダーシップの役割がある。 ・教師 ・校長 ・両親 ・長老たち ・コーチ リーダーは公平に行動することで、コミュニティの幸福に貢献することができる。	リーダーはコミュニティを導く。	地域コミュニティのリーダーを特定する。 リーダーがコミュニティを導く方法を認識する。 時間に関連づけて経験を共有する。 リーダーが公平に行動する方法をブレインストーミングする。

シティズンシップ	地域、国、およびグローバルな問題を理解することは、包摂的な社会に向けた個人および集団の行動に力を与える。
学習課題	人々はどのようにグループで協力できますか？
学習成果	共通の目標の達成に協力とコラボレーションを関連づける。

知識	理解	スキルとプロセス
グループ内の人々はさまざまな方法で協力し、コラボレーションする。たとえば、 ・他の人を助ける ・公平かつ敬意を持って交流する ・活動に参加する ・他者のニーズを考慮する ・アイデアやストーリーを共有する ・問題を解決する グループ内の人々は、メンバーがどのように協力するかについてルールや期待値を設定することができる。 グループ内の人々は、共通の目標（市民の責任と市民権）を達成する責任を負う。	メンバーが協力すれば、人々はグループでより効果的に働くことができる。	所属しているグループを特定する。 協力とコラボレーションの利点を評価する。 人々が協力できる方法を提示する。 グループワークのルールと期待値を決定する。

参考資料:新G1 社会科カリキュラムの学習成果一覧

Government of Alberta(2025) Alberta' curriculum/Social Studies G1. In *Welcome to New learn Alberta*. より発表者作成・訳。

時間と場所	人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。
学習課題	コミュニティ内の場所の重要性は何ですか？
学習成果	私たちの世界の主要な物理的特徴と主要なランドマークを調べる。

知識	理解	スキルとプロセス
コミュニティには次のような自然の特徴がある。 ・山 ・森 ・草原 ・川 ・湖 コミュニティは次のようなランドマークを建てることができる。 ・建物 ・公園 ・道路 ・経路 ・橋 ランドマークは、自然または人間によって構築された場所の識別可能な構造または特徴である。 いくつかの自然のランドマークの名前は、ファーストネーション、メティス、イヌイットの言語と口承の伝統を通じて受け継がれている。例えば、オコトクスビッグロックやブラックフットのオカトクなど。	自然の特徴とランドマークは重要である。	自然の特徴と建設されたランドマークを区別するための基準をブレインストーミングする。 地元の自然の特徴や建設されたランドマークが個人的に重要な理由を共有する。 地域社会のランドマークを認識する。 先住民、メティス、イヌイットの名前を持つ自然のランドマークを特定する。

時間と場所	人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。
学習課題	文化を共有することで、どのようにしてコミュニティ間のつながりを構築できますか？
学習成果	多様なコミュニティの文化を探究する。

知識	理解	スキルとプロセス
文化は、文化的なお祝いや伝統として、個人やコミュニティによって表現することができる。 人々は、文化、伝統、歴史（起源）に関する情報を共有することで、お互いについて学ぶことができる。 コミュニティは多様な文化で構成される。 カナダのファーストネーションコミュニティ、メティスコミュニティ、イヌイットコミュニティには、多様な文化がある。 土地とのつながりは、先住民、メティス、イヌイットのコミュニティの多様な文化間で共有されている。	文化について学ぶことで、多様なコミュニティへの感謝（異文化間の理解）を築くことができる。	地域コミュニティにおける文化の表現を説明する。 フランス語圏のコミュニティにおける文化の表現を説明する。 個人的な文化の表現を共有する。 先住民、メティス、イヌイットのコミュニティの文化をどのように表現しているかについて話し合う。

諸システム	組織のプロセスと構造を評価することで、世界の意思決定の理解が構築される。
学習課題	人々はどのように協力してニーズや欲求を満たすことができますか？
学習成果	商品とサービスの交換について調べる。

知識	理解	スキルとプロセス
食品、衣類、家具などの商品は、ニーズや欲求を満たすアイテムである。 サービスは、他者のニーズや欲求を満たすのに役立つ行動である。たとえば、 ・衣類や物を修理する。 ・廃棄物とリサイクル品の収集と管理 ・医療を提供する 共有とは、見返りを期待せずに与えることである。 物々交換、売買、販売を含むやりとりは、人々とコミュニティ間の商品やサービスの交換である。	商品やサービスは共有または交換できる。 商品、サービス、天然資源の使用と交換は、ニーズと欲求を満たすことができる。	商品とサービスを区別する。 商品やサービスを交換するさまざまな方法を比較する。

時間と場所	人、場所、時間の間の動的な関係を探ることは、世界の意味を理解するための視点や出来事の理解をサポートする。
学習課題	人々はどのような方法でコミュニティに貢献できますか？
学習成果	コミュニティグループや組織における役割と責任を調査する。

知識	理解	スキルとプロセス
人々は、リーダーやヘルパーの役割を担うことで、コミュニティグループや組織が共通の目標に向かって働くのを支援することができる。 役割には、次のようなものがある。 ・アイデアを寄与する ・他者の話に耳を傾ける ・活動に参加する ・ルールに従う ・公平に行動する ・他の人と協力する 責任とは、リーダーやヘルパーが役割を果たし、グループや組織の目標に貢献するために取る行動である。	役割と責任は、コミュニティの目標への参加と達成をサポートする。	リーダーとヘルパーの役割と責務を区別する。 役割と責任の達成をコミュニティの目標の達成に関連づける。

シティズンシップ	地域、国、およびグローバルな問題を理解することは、包摂的な社会に向けた個人および集団の行動に力を与える。
学習課題	人々はどのように所属意識を育むことができますか？
学習成果	グループやコミュニティ内での所属意識がどのようにサポートされているか調べる。

知識	理解	スキルとプロセス
人々は、グループやコミュニティ内で、さまざまな方法でポジティブな関係を築くことができる。 ・敬意を示す ・好奇心が強い ・文化やイベントを祝う ・他の人や場所について学ぶ ・文化を超えたつながりを築く ・協力する グループやコミュニティ内での人間関係や共有された経験は、メンバーが所属意識を育むのに役立つ。 カナダには、所属意識に貢献できる公式のシンボルがある。 ・カナダの国旗 ・カナダの国色、赤と白 ・カナダの紋章 ・カエデの葉 ・カエデの木 ・カナダの国民的スポーツ、ラクロス、アイスホッケー 人々は、「O Canada」を歌ったり、カナダの国旗を掲げたりするなどの伝統に従うことで、カナダでの所属意識を感じていることを示すことができる。	所属は、グループやコミュニティの一員であることから発展する。	グループとコミュニティの特性をブレインストーミングする。 カナダの公式シンボルを区別する。 個人的なコミュニティ内のアイデンティティの感覚に貢献する特徴と経験について説明する。 カナダへの所属を示す方法をモデル化する。

主なFinding と考察

21

価値・態度が評価対象から外された一方で、知識および理解の重視、およびそれらの主旨、方向性が明示される傾向へ。

→知識や理解の方向性を明確に定めることによって、形成される認識や価値観、態度が暗示されていると見とれる。その方向性とは、「目標を共有し、その達成のために協力することで我々のニーズや欲求を満たすのが集団の価値である」そのために「市民同士で協力、協働することが有益である」という価値観をスケールを変えて繰り返し考察させ、その普遍性を認識させる学習を通して、態度形成を目指す、段階的かつ有機的に統合されたカリキュラム構成となっている。

カリキュラム構造の中核的コンセプトから「アイデンティティ」が外れたものの、具体的なカリキュラム内容を分析すると、より一層低年齢段階で、文化や歴史の多様性の認知、個と集団・社会とのつながり、所属意識の重要性について認識させる構造となっているとともに、上述の通り、集団的共生の必要性、意義が強調される構造を見とることができる。

→まずは個や集団の多様性と、個にとっての集団および集団的共生の必要性および必然性についての理解を定着させた上で、そのための民主主義の価値に気づかせるとともに、具体的な市民参加について主体的に考察させるよう導こうとする段階性を見とることができる。

つまり、新しいカリキュラムは、幼稚園段階から「社会」とは、多様な人々が関わり、共に創造していくものであり、その一員としての所属意識と貢献こそが、集団の一員としての資格であるという認識を育むスパイラルカリキュラム的構造となっている。

結論

今改訂では、現行カリキュラムの基本要素としての、多様性の尊重と「社会的結束」、Issues Focused Approachといった中核的なコンセプトはそのままに、学習領域（内容）をスリム化することで、これらのコンセプトが一層強調される構造となっている。その結果、段階的に個から集団、国家、地球レベルへスケールを広げながら、個や集団の多様性、集団的共生の必要性を繰り返し学習させることで、それらの必然性ならびに普遍性を認識させる、スパイラルカリキュラム的構造がより一層強化された構造となっていると言える。

今後の課題と展望

- ・ G10－G12の改訂がどのような方向へ向かっているのか、最新の情報を収集しながら、目指されている社会科カリキュラムの完成形、構造を明らかにすること、そして実際の効果などについても追究したい。

引用参考文献

- Alberta Education(2005) *Social Studies Kindergarten to Grade 12 Program of Studies*.
<https://education.alberta.ca/media/159594/program-of-studies-k-3.pdf> (2025/6/28最終閲覧)
- Alberta Education(2007) “SOCIAL STUDIES GRADE 6: Democracy: Action and Participation.” In *SOCIAL STUDIES KINDERGARTEN TO GRADE 12*. Alberta, Canada. (2025/6/28最終閲覧)
- Alberta Education(2007) “SOCIAL STUDIES GRADE 9: Canada: Opportunities and Challenges.” In *SOCIAL STUDIES KINDERGARTEN TO GRADE 12*. Alberta, Canada. (2025/6/28最終閲覧)
- Government of Alberta(2022) *2021 Education Satisfaction Surveys | Summary Report*
<https://open.alberta.ca/dataset/316917c1-4941-41e3-bd01-aba367c80f1b/resource/2d76bc11-d9af-4cb6-a32a-922b03c3d71c/download/edc-education-satisfaction-surveys-summary-report-2021.pdf> (2025/6/28最終閲覧)
- The Alberta Teachers’ Association(2016) *The Future of Social Studies- The Voices of Alberta Teachers*
<https://legacy.teachers.ab.ca/SiteCollectionDocuments/ATA/Publications/Research/COOR-101-11%20The%20Future%20of%20Social%20Studies.pdf> (2025/6/28最終閲覧)
- Government of Alberta(2025) *Bridging Student Learning to New Curriculum: Social Studies Grade 6*
<https://curriculum.learnalberta.ca/cdn/ciihub/docs/social-studies-grade-6-bridging.pdf> (2025/6/28最終閲覧)
- Government of Alberta(2025) Alberta’ curriculum/Social Studies K-G9. In *Welcome to New learn Alberta*.
<https://curriculum.learnalberta.ca/curriculum/en/area/SSS>(2025/6/28最終閲覧)
- 坪田益美(2024)「シティズンシップ育成におけるグローバル・アイデンティティ形成のストラテジー-カナダ・アルバータ州の社会科カリキュラムを事例として-」日本社会科教育学会『社会科教育研究』No.152, pp.71-81。